

議案説明書

一般社団法人 日本 WPA

第 10 期（令元年度）事業活動報告

1. 事業の概要

水なし印刷を核とした環境対応印刷技術の普及促進による印刷環境保全、生産性向上、高品質化を推進し、地球温暖化防止、VOC 発生抑制などの社会的課題の解決を目的に、種々の活動を実施した。

(1) 収支実績

収支とも、ほぼ予算と通りとなった。収入は、会費収入及びその他で、15,951,105 円、支出は、16,397.885 円で、期末の正味財産残高は、11,420,534 円となった。

予算比で 1,420,160 円の増加となった。

(2) 会員数の増減

期中では、正会員 2 社、及び協賛会員 1 社の新規加入があったが、退会会社数が 5 社あり、会員数は、121 社である。

2. 個別事業活動報告(継続事業)

(1) 地球温暖化防止環境大臣表を受賞

2019 年 12 月 2 日に、地球温暖化防止環境大臣表を受賞した。受賞理由は、カーボンオフセットによる実質二酸化炭素排出量ゼロ印刷の活動である。

(2) UV印刷採用事例の増加と完全 VOC フリー印刷の実用化

前期に引き続き、水なし UV 印刷、LED-UV 印刷の採用事例が増加した。また、3W インキを使用した完全 VOC フリー印刷の実用化が開始された。

(3) 会員向けサービス

- ・ 6 月 6 日に第 9 期定期総会の併設事業として、国立環境研究所の五箇公一氏による「地球環境変動がもたらす生態リスク」の演題での講演会、及び (株) ウェイストボックス社の鈴木修一郎社長による「いま、印刷企業が求められる脱炭素経営」の演題での講演会を実施した。
- ・ カーボンオフセット事業、VOC 計測事業、CFP 事業を継続実施した。
カーボンオフセット事業では、第 9 期総会に合わせて、6000 トン達成に貢献度の高い 4 社を表彰した。
- ・ 10 月に、北東工業 (株) で工場見学会・懇親会を実施した。
- ・ 日本 WPA のホームページの「採用事例 (印刷発注者向けのコンテンツ)」および、「導入事例 (印刷会社向けのコンテンツ)」を追加し、充実を図った。
- ・ 会員専用ページが完成し、会員が自由にダウンロードできる各種資料を掲載した。

(4) 「Clear Sky サポーター」への登録

東京都が推進する大気環境の改善を図るためのプロジェクト「Clear Sky サポーター」に登録され、会員企業の多くも個別に登録した。

(5) エコプロ 2019 展 (12 月) への出展

経産省、環境省の支援のもと、カーボンオフセットに取り組んでいる新潟県他 5 団体でのコラボレーション企画にも出展し、日本 WPA の環境への取り組み、バタフライロゴへの認知度向上に寄与した。

(6) 脱炭素チャレンジカップ 2020 への協賛

2020 年 2 月に開催された脱炭素チャレンジカップ 2020 (環境省・文部科学省後援) に協賛し、岡山県学童保育連絡協議会に「日本 WPA 最優秀未来へのはばたき賞」を贈呈、顕彰した。

第 11 期（令和 2 年度）事業活動方針

日本 WPA の使命は、①水なし印刷、バタフライロゴの普及、②水なし印刷に関する技術、経営情報の共有化、③会員相互の交流にある。これらの使命を果たすための最重要課題は、日本 WPA の基盤の強化である。

1. 基本活動方針

減少傾向の会員数に対し、会員数の増加を図る。新型コロナウイルス感染による影響が続く中、活動のオンライン化の取り組みを進めて効率化を図るとともに、会員サービスについて、質・量について現状を維持しつつ、その内容の充実を目指す。

2. 個別事業活動方針

(1) エコプロ 2020（12 月開催予定）への出展

一般来場者や、未来の水なしファンになってくれるであろう子どもたちにも分かりやすい展示を行い、同時に人気のかかる取り大会も継続する。

(2) 脱炭素チャレンジカップ 2021（2 月開催予定）への協賛

前回 2020 大会は 1500 近い団体からの応募があり、盛況に開催され、「水なし印刷」の普及にも貢献できた。引き続き、脱炭素チャレンジカップ 2021 に協賛し、審査委員に加わり「日本 WPA 最優秀未来へのはばたき賞」を該当団体に贈呈する。

(3) ホームページのメンテナンス

閲覧者の多い、「採用事例（印刷発注者向けのコンテンツ）」および、「導入事例（印刷会社向けのコンテンツ）」の充実を継続的に進める。

(4) カーボンオフセット事業、VOC 計測事業、CFP 事業

日本 WPA が先進的に実施しているカーボンオフセット事業、VOC 計測事業、CFP 事業を、継続事業として実施する。

(5) 印刷機のリノベーション事業

老朽化した印刷機のリノベーションによる「水なし化」は、経営的に多大なメリットがあり、省資源の社会的課題にも応えるものである。リノベーション+後付 UV による水なし UV 化は、重点方針として、今後とも積極的に応援、情報発信に努めていく。

(6) 日本 WPA の活性化

日本 WPA の活性化のための、工場見学会・セミナー、懇親会等のイベントを充実させ、会員相互交流、相互の情報交換の機会を増加させる。また来年 4 月に延期となっている drupa にも日本 WPA ツアーを組んで参加し、E-WPA との交流や世界の印刷最新技術の紹介を図りたい。

3. 予算

第 11 期は、収入 14,889,000 円を計上する。支出については、コロナ禍の影響が残ることにより、継続事業のみとする。支出は、会費収入以下の 14,368,680 円を計上する。